

第32回定例会会議録

- |   |      |  |
|---|------|--|
| 1 | 日 時  | 令和4年2月17日(木)<br>午前10時00分 開会<br>午前11時15分 閉会   |
| 2 | 場 所  | 選挙管理委員会室   |
| 3 | 出席者  | 委員長 山内 彰<br>委員長職務代理 市川 康憲<br>委員 岡部 健一<br>委員 渡邊 洋<br>事務局長 渡邊 謙吉<br>次 長 織田 健一<br>選挙担当係長 小牧 正季<br>主 査 佐藤 知洋 |
| 4 | 議 題  | 別紙議題のとおり   |
| 5 | 議事経過 | 裏面のとおり   |
| 6 | 特記事項 | なし   |

作 成 令和4年2月17日  
作成者 佐藤 知洋

## 議 事 録

### 1 その他

- (1) 事務局の発案により、勉強会を実施した。今回は、「不在者投票について」をテーマとし、船員及び国外における不在者投票に焦点を当て、別添資料をもとに選挙担当係長より説明した。また、委員より以下の質問があり、事務局長及び選挙担当係長がその質問に対し説明した。
- ・船員及び国外における不在者投票は、郵送等による手続きのやりとり  
に時間を要するので、運用面で課題が多くあると感じる。  
⇒投票用紙が投票日当日の午後8時までに到着しないこともありうる。
  - ・洋上投票は、FAXで投票送信用紙を送付し、原本を後日送付する取  
扱いになっているが、開票の結果が確定した以降に到着する原本を送  
付する意味がないように感じる。  
⇒開票作業は、FAXを基に行うため、不在者管理者の事務が適正に  
行われていることを担保するためと理解している。なお、原本は投  
票関係書類として扱い保管することになると考える。
  - ・洋上投票及び南極投票で利用できる選挙は国政選挙となっているが、  
最高裁判所裁判官国民審査は利用できないという認識でよいか。  
⇒お見込みのとおり。現在、在外投票も最高裁判所裁判官国民審査は  
投票できない。
- なお、今後もテーマを選定し、随時勉強会を実施していくこととした。
- (2) 渡邊委員より、委員会の会議録の取扱い及び委員長の任期について、他  
区の状況を鑑み、見直しが必要ではないかという提案があり、第34回  
定例会において意見交換することとなった。
- (3) 委員会等の日程について、次回第33回定例会については、令和3年度  
第25回定例会時に決定したとおりとすることを確認した。

令和4年2月17日

## 第32回定例会議題

### 1 その他

(1) 勉強会（不在者投票制度について）

(2) その他

◆次回定例会等の日程・・・出席者・開催時間にご注意ください。

2月22日（火） 全委員 午前10時00分～ 選挙管理委員会室

第33回定例会

【主な議題（予定）】

・令和4年執行参議院議員選挙における投票所の変更について